

令和7年度 第1回 教育研究評議会 要録

日時	令和7年4月16日(水) 13時00分～14時57分
場所	遠隔会議：第一会議室、各事務室等
出席者	榊理事長、高田学長、榎本理事、中山副学長、宮林副学長、才協副学長、山内副学長、星野副学長、吉田文学部長、酒井理学部長、松本生活環境学部長、久保工学部長、遊佐人間文化総合科学研究科長、天ヶ瀬評議員、高岡評議員、鍵和田評議員、篠田評議員、岡本評議員、高地評議員、黒子評議員、衣川評議員、高村評議員
列席者	青山監事、向総務課長、寺本企画課長、川村人事課長、樋口財務課長、奥施設課長、山崎情報課長/学術情報課長、荒堀国際課長、植田研究協力課長、米谷学務課長、角田学生生活課長、津寄入試課長、三谷監査室長
議長	高田学長

議事に先立ち、①構成員／列席者の紹介 ②教育研究評議会の役割等について確認 ③前回の記録について確認を行った。

I 審議事項

1. 国立大学法人奈良国立大学機構理事長選考・監察会議委員の選出について

高田学長から、審議資料1により国立大学法人奈良国立大学機構理事長選考・監察会議委員の選出について、他のセンター長や附属学校部長を兼ねる宮林副学長と山内副学長は被選挙権がある旨や投票ルール等の説明があり、投票を行った。投票の結果は以下のとおり。

1回目：吉田文学部長、酒井理学部長、松本生活環境学部長、遊佐人間文化総合科学研究科長、岡本評議員、高地評議員、黒子評議員

2回目：吉田文学部長、酒井理学部長、遊佐人間文化総合科学研究科長

(※名簿順)

2段階の投票の結果、吉田文学部長、酒井理学部長及び遊佐人間文化総合科学研究科長を選出した。なお、委員に欠員等が生じた場合には、黒子評議員、高地評議員、松本生活環境学部長の順で委員として選出することとした。

2. 工学部アドミッションポリシーの改定について

久保工学部長から、審議資料2により説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

3. 諸規程等の制定等について

(1) 高等教育研究・支援センター設置に関する規程の一部改正について

中山副学長から、審議資料3により説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

4. その他

特になし

II 報告事項

1. 教育統括会議規程の一部改正について

宮林副学長から、報告資料1により報告があった。

2. 奈良国立大学機構事務局長による事務の統括方針及び日々の業務でお願いしたいことについて

榎本理事から、報告資料2により報告があり、種々意見交換を行った。

酒井理学部長、松本生活環境学部長及び衣川評議員から、事務職員に対する勤務時間外のメールについては、送信側も即時の対応を求めておらず、受信側が対応しないことを徹底すれば、送信することは差し支えないのではという意見があったが、中山副学長、宮林副学長、吉田文学部長及び天ヶ瀬評議員からは、勤務時間外のメールについて、心理的に負担を感じる事務職員もいるため、送信することは避

けるべきではないかという意見があった。

高田学長から、上記意見交換の内容を踏まえ、緊急時を除き、勤務時間外のメールは控えることに協力願いたいとの説明があった。

3. クラウドファンディングについて

榎本理事から、報告資料3により報告があった。

4. 令和7年度 国立大学法人施設整備費補助事業（長寿命化促進事業）の内示について

榎本理事から、報告資料4により報告があった。

5. 財政的観点から持続的発展を考えるための検討について

榎本理事から、報告資料5-1～5-7により報告があった。

高田学長から、令和10年4月の大学院改組を検討する中で、博士後期課程についても遊佐人間文化総合科学研究科長を中心に将来計画を考えている旨報告があった。遊佐人間文化総合科学研究科長から、文部科学省の「未来を先導する世界トップレベル大学院教育拠点創出事業」への申請を検討している旨説明があった。

6. その他

・業務運営上必要な預り金について

榎本理事から、報告資料6-1～6-2により報告があり、各部局で預り金に該当するものがないか改めて確認し、適切な管理をするよう依頼があった。

・山内副学長から、令和6年度の情報セキュリティ e-learning の受講状況の報告と、令和7年度実施に対する協力依頼があった。酒井理学部長から、受講率を高めるために頻繁に再依頼があったが、依頼頻度を減らせるように検討願いたい旨意見があった。

・酒井理学部長から、入学式後の保護者向け説明会の名称を各学部間で統一することを検討願いたい旨、意見があった。

次回、教育研究評議会を令和7年5月21日（水）13時00分から開催することとし散会